

大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)は埼玉県三芳町の三芳工場で「みよし森の音楽会」を催した。協力会社や地域、従業員の家族など幅広い関係者に、日ごろの感謝を込め行っているイベント。クラシックやジャズ、オペラなど様々な演目が約200人の参加者を楽しませた。音楽会は2012年からスタートし今年で11回目。今回のテーマである「節分」にちなんだ楽曲も披露された。

挨拶に立った萩野社長は「第1回目の開催は世界不況の影響が残る厳しい時期。そこか

大和合金

「節分」テーマに音楽会

三芳工場で開催、200人参加



ら売り上げは倍近くになど様々な節目を経験した。また春には欧て、さらなる成長に向かう決意も込めた。

皆様に改めて感謝。音楽会は大和合金としたい」と話した。節グループ会社の三芳合同のテーマには時期だ金工業が共催。第一線だけでなく、初の海外拠で活躍する4人の奏者点開設や前社長萩野氏が「アロイ・カルテック氏が亡くなったこと」としてクラシック

の楽曲を披露
 写真した
 ほか、さわか
 みオペラ芸術
 振興財団が支
 援する歌手が
 参加した。ま
 たプロミュー
 ションのフ
 クムラサトシ
 さんがジャ
 ズを演奏し
 た。